

平成19年度

事業の記録

2007



財団法人 鹿児島県国際交流協会

KAGOSHIMA INTERNATIONAL ASSOCIATION

目 次

《事業の記録》

第1	国際理解の増進	
1	情報収集提供機能の拡充	1
2	広報出版活動の充実	2
3	国際理解の推進	3
第2	国際交流活動の展開	
1	海外との相互交流の推進	6
2	在住外国人との交流促進	7
3	国際交流組織の連携・支援の強化	8
4	国際交流ボランティア制度の拡充	10
第3	多文化共生の推進	
1	在住外国人と日本人の相互理解の促進	12
2	異文化交流の促進	13
第4	国際協力の推進	
1	留学生への支援	15
2	国際協力に対する理解の促進	16
3	国際協力機関等との連携	16
第5	協会体制の確立	
1	管理運営の充実	18
2	組織機構の拡充強化	18
3	財産基盤の確立	18

第 1 国際理解の増進

1 情報収集提供機能の拡充

(1) インターネットによる情報収集提供機能の充実

インターネットによる情報の収集・提供（平成10年度開始）

インターネットによる情報収集・提供やホームページの定期的更新を行った。

年 度	内 容
平成17年度	日本語・英語のホームページの各種情報を随時更新するなど充実を図るとともに、Eメールを活用した情報提供を行った。
18年度	日本語・英語のホームページの各種情報の随時更新や情報公開資料の掲載など、内容の拡充を図るとともに、Eメールを活用した情報提供を行った。さらに、中国語、韓国語によるホームページ立ち上げに向け掲載内容の選定・翻訳作業を行った。
19年度	日本語・英語に加え、中国語・韓国語のホームページを開設し、各種情報の随時更新を行うとともに、事業報告書等の情報公開資料の掲載など、内容の拡充を図った。 また、メーリングリストの開設など、Eメールを活用した情報提供を行った。

(2) 国際交流プラザのサービス機能の充実

ア インターネットの開放

来訪者向けの情報提供用インターネット用パソコンの利用促進を図った。

イ ライブラリーの整備

(ア) 図書類の整備・利用促進（平成2年度開始）

海外渡航や生活情報、留学情報、アジア・太平洋諸国の最新事情及び交流の基礎となる鹿児島の理解に役立つ図書類の収集・充実を図った。

また、海外新聞や海外雑誌等を定期的に購入し、閲覧に供した。

【図書類】

平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末
2, 0 7 0 冊	2, 3 1 1 冊	2, 4 1 7 冊

図書の分野：辞書・辞典、語学、外国事情、留学関係、国際理解、日本文化、日本理解等

【定期購読新聞・雑誌】

年 度	内 容
平成19年度	外国新聞 [6紙] Guardian Weekly, 人民日報, Sunday Times, 東亜日報, The Japan Times, The Washington Post 外国語雑誌 [6誌] 週刊韓国, 人民中国, 読者, TIME, English Zone, 中国語ジャーナル その他 [1誌] 月刊日本語

(イ) ビデオテープの閲覧・変換サービス

a ビデオテープの閲覧（平成2年度開始）

ビデオテープの閲覧のサービスを実施した。

【ビデオの分野】海外情報、日本紹介、鹿児島県紹介、国際交流、国際協力等

b ホームビデオの変換サービス（平成6年度開始）

世界各国のビデオに対応するよう録画方式を変換するサービスを図った。

平成17年度	平成18年度	平成19年度
14件	3件	0件

- (ウ) 外国テレビ放映サービスの実施（BS放送：平成2年度，CS放送：平成15年度開始）
外国テレビ放送（英語・韓国語・中国語放送）の放映サービスを行った。

2 広報出版活動の充実

(1) 情報誌の発行

県民向け又は在住外国人向けの情報誌を発行した。

誌名	暖流	South Wing	国際交流ひろば
言語	日本語	英語	日本語
発行開始年度	平成5年度	平成元年度	平成12年度
平成17年度	2回各2,000部	2回各800部	12回各800部
18年度	2回各2,000部	2回各800部	12回各800部
19年度	2回各2,000部	2回各800部	12回各800部
平成19年度の 主な記事	小学生対象の国際理解講座の募集、外国人による日本語スピーチコンテストのお知らせ、国際子供フェスティバル、青少年国際協力体験事業、国際体験in鹿児島、民間団体活動助成事業PR、国際交流プラザPR、第13回外国人による日本語スピーチコンテスト、多文化共生ボランティア育成講座、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会県民表彰及び受賞祝賀会、県国際交流員による文化紹介講座、県国際交流員の紹介、新JICA国際協力推進員の紹介	在住外国人のための日本語・日本語理解講座、国際子供フェスティバル、国際体験in鹿児島、留学生と協力隊OBが先生事業、外国人による日本語スピーチコンテストのお知らせ、国際交流プラザPR、第13回外国人による日本語スピーチコンテスト、日本語・日本文化理解講座後期閉講式、県国際交流員による文化紹介講座、国際交流員の紹介、新JICA国際協力推進員の紹介	県内国際交流・国際協力のイベント情報等
配布先	県民向け 市町村、民間交流団体等、 地域国際化協会、県内学校	在住外国人向け 市町村外国人登録窓口、 県内大学、民間交流団体等	県民向け 県内学校、県庁、公共施設等

(2) 刊行物の発行等

ア 刊行物の発行

国際交流・協力に関する刊行物を発行し、地域の国際化に資した。

平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度事業の記録 平成16年度事業報告書（アジア・太平洋農村研修センター）「あゆみ」
18年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度事業の記録 平成17年度事業報告書（アジア・太平洋農村研修センター）「あゆみ」 鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリー 留学生のための生活ガイドブック
19年度	<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度事業の記録 留学生のための生活ガイドブック

イ 国際交流プラザ活用の促進

国際交流プラザを在住外国人の方に周知するため、日本語によるリーフレットのほか、外国

語（英語）のリーフレットを配布した。

(3) 生活ガイドブックの販売（平成14年度開始）

在住外国人の生活を支援するため、外国語（英語・韓国語・中国語）の鹿児島生活ガイドブックの販売を行った。

【主な内容】法律上の手続き，医療・福祉，交通機関，緊急，災害等インフォメーション

3 国際理解の推進

(1) 外国語・文化講座等の開催

ア 韓国語講座の開催（平成2年度開始）

平成元年10月の「日本国鹿児島県と大韓民国全羅北道との友好協力の推進に関する宣言」に基づく交流の促進に資するため、韓国語講座を開催した。

年 度	開催曜日	開催時間	受講者	講 師	会 場
平成17年度	水 曜 日	18:30~20:00	19名	成 賢貞 氏	国際交流プラザ
18年度	水 曜 日	18:30~20:00	14名	田 キョンア 氏	
19年度	火 曜 日	18:30~20:00	7名	田 キョンア 氏 文 太俊 氏	

イ 中国語・文化講座の開催（平成18年度開始）

中国の文化に言葉の学習を通して触れ，鹿児島と中国の交流をさらに深めることができるよう，「中国語・文化講座」を開催した。

年 度	開催曜日	開催時間	受講者	講 師	会 場
平成18年度	土 曜 日	14:00~15:30	12名	趙 国興 氏	国際交流プラザ
19年度	金 曜 日	18:30~20:00	15名	趙 国興 氏	

ウ 県国際交流員等による文化講座等の開催（平成15年度開始）

県国際交流員や在住外国人による外国の文化紹介や異文化体験等を通して，県民の国際理解を促進するとともに，多文化共生の地域づくりへの関心を高めた。

年 度	実施回数	参加者総数	内 容	講 師	会 場
平成17年度	13回	491名	各国料理講座，映画上映，各国文化紹介，アイルランドのクリスマス，韓紙工芸，国際交流チャリティーイベント「虹の橋」他	県国際交流員（アイルランド，シンガポール，韓国，中国）	かごしま県民交流センター・国際交流プラザ他
18年度	8回	181名	各国料理講座，語学講座，中国の書道，韓国の伝統的遊び，国紹介他	県国際交流員（アイルランド，シンガポール，カナダ，韓国，中国）	
	3回	68名	ベトナム文化紹介講座，タンザニア文化紹介講座，新疆ウイグル自治区文化紹介講座	鹿児島大学留学生（ベトナム，タンザニア出身），鹿児島国際大学非常勤講師	

19年度	8回	158名	カナダのおやつ「クレープ」を作ろう、ペラナカンの暮らし、中国の家庭料理を味わおう、親子で韓国のおやつを作ろう、韓国文化を学ぶ自分づくり講座、映像で中国の観光地をめぐる、ケベックのフランス語、始良町国際交流料理教室	県国際交流員 (シンガポール、カナダ、韓国、中国)
	2回	53名	タピオカのおやつを作ろう、インドネシア文化紹介講座	鹿児島大学留学生 (ミャンマー出身、インドネシア出身)

エ ランチタイム・イングリッシュ・クラブ（平成4年度開始）

英語による外国文化の紹介や自由な意見交換を行うため、県国際交流員による「ランチタイム・イングリッシュ・クラブ」を開催した。

年 度	開催曜日	開催時間	講 師（鹿児島県国際交流員）	会 場
平成17年度	金曜日	12:00~13:00	フィリップ・クイン（アイルランド）	国際交流プラザ
18年度	金曜日	12:00~13:00	フィリップ・クイン（アイルランド） ダニエル・マッキ（カナダ） ツア・シンジュアン（シンガポール）	
19年度	金曜日	12:00~13:00	ダニエル・マッキ（カナダ） ツア・シンジュアン（シンガポール）	

オ 中国・韓国文化理解・会話テキストCDの頒布（平成19年度開始）

県民の外国人接客能力向上や在住外国人との交流を図り、本県の国際化を進めることを目的に、鹿児島県が制作した、中国・韓国文化理解・会話テキストCDを頒布し、県民と外国人との交流及び県民の国際理解の促進を図った。

(2) 国際理解プログラム事業の実施

ア 「留学生と協力隊OBが先生～見える・学べる・世界の国々～」事業の実施

（平成7年度開始）

青年海外協力隊や国際協力、発展途上国等に対する理解を深めるため、留学生や青年海外協力隊のOB・OG等を小・中学校に派遣する事業を、鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会とで組織する実行委員会にて実施した。

クレアの助成事業として実施した。

年 度		平成17年度	平成18年度	平成19年度
派遣学校		46校	42校	46校
参加者数		2,707名	2,689名	2,774名
講師	留学生	13名	16名	21名
	協力隊OB・OG	46名	42名	46名

*後援：鹿児島県，鹿児島大学，鹿児島県教育委員会，JICA九州国際センター

イ 「国際体験 in 鹿児島」事業の実施（平成17年度開始）

小学生を対象に、外国人家族との交流の中でその国の習慣や文化を学び、異文化の理解と国際交流への芽を育むため、県内在住外国人の家庭でのホームステイを実施した。
クレアの助成事業として実施した。

年 度	実 施 日	参加ホストファミリー	参加ホストファミリー出身国	参加児童
平成17年度	平成17年 7月30日～31日	鹿児島大学留学生 7家族	パキスタン, ヨルダン, ベトナム, マカオ	7名
	平成18年 1月28日～29日	鹿児島大学留学生 4家族	パキスタン, ヨルダン, パプアニューギニア, バングラデシュ	4名
18年度	平成18年 7月29日～30日	鹿児島大学留学生 4家族	タンザニア, バングラデ シュ, フィリピン	4名
19年度	平成19年 7月28日～29日	鹿児島大学留学生, 在住外国人 8家族	バングラデシュ, 中国, ペルー, パキスタン, イ ンドネシア, マレーシア	8名

ウ 子供国際理解講座の開催（平成18年度開始）

多種多様な分野における日本と外国のつながりを学ぶことを通して、子供たちの国際理解へとつなげるため、独立行政法人国際協力機構と社団法人鹿児島青年会議所との三者の共催で、小学生を対象とした国際理解講座を開催した。

クレアの助成事業として実施した。

年 度	実 施 日	内 容	参加児童
平成18年度	平成18年11月 5日	自動車 (小学校1～3年生対象)	16名
	平成18年11月26日	食べ物 (小学校4～6年生対象)	14名
19年度	平成19年11月25日	クリスマス (小学校1～3年生対象)	15名
	平成19年11月25日	クリスマスケーキの材料 (小学校4～6年生対象)	7名

(3) 国際理解教材の整備・貸出し

国際理解, 国際交流, 国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の実施者に対して, 民族衣装や国旗, 地図等の貸出しを行うとともに, その整備・充実を図った。

年 度	国 旗	地 図	民族衣装
平成17年度	27回	1回	13回
18年度	26回	1回	16回
19年度	22回	1回	20回

第 2 国際交流活動の展開

1 海外との相互交流の推進

(1) 海外派遣交流の推進

ア 青少年国際協力体験事業の実施（平成 2 年度開始）

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生等にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を、市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

クレアの助成事業として実施した。

年 度	対象地域	団員数	主な派遣先	派遣期間	同行者数
平成17年度 (第14回)	鹿児島市, 枕崎市, 国分市, 串木野市, 知覧町, 実行委員会枠	1 4	ベトナム 社会主義共和国 ホアビン省 モーハイ村	7月24日(日)~31日(日) (8日間)	6
18年度 (第15回)	鹿児島市, 枕崎市, 霧島市, 知覧町, 実行委員会枠	1 2	マレーシア ボルネオ島サバ州 シニシアン村	7月22日(土)~29日(土) (8日間)	6
19年度 (第16回)	鹿児島市, 枕崎市, いちき串木野市, 霧島市, 南さつま市 知覧町, 実行委員会枠	1 7	ベトナム 社会主義共和国 バクニン省 ディンバン村	7月22日(日)~29日(日) (8日間)	6

イ 海外留学の支援

(7) 留学関係情報の提供（平成 2 年度開始）

世界主要国の留学制度、海外生活、海外事情等に関する書籍を整備し、情報を提供するとともに、相談に応じたり専門機関の紹介を行ったりした。

年 度	平成17年度	平成 18 年度	平成 19 年度
相談件数	6 4 件	5 8 件	1 5 件

(イ) ワーキング・ホリデー促進への協力（平成 1 1 年度開始）

ワーキング・ホリデーに関する書籍の整備や掲示板で最新情報の掲示を行った。

また、ワーキング・ホリデーを希望する本人や家族からの旅行先、手続き・方法等について、相談に応じた。

年 度	平成17年度	平成 18 年度	平成 19 年度
相談件数	1 5 件	4 3 件	3 4 件

(2) 広域的受入事業

国際観光船寄港時の協力（平成 2 年度開始）

国際観光船の寄港時等に、主催者や関係機関と連携し、語学ボランティアを紹介するなど必要な協力を行った。

年 度	日 時	観光船名	内 容	参加者数
平成17年度	平成18年 3月 8日 (水)	ノーティカ号	通訳 (英語)	1 名
平成18年度	—			

平成19年度	平成19年 7/7(土), 7/12(木), 7/16(月), 7/22(日), 7/27(金), 8/31(金), 9/15(土), 9/24(月), 10/4(木)	コスタアレグラ号	通訳 (中国語)	延べ 11名
--------	---	----------	----------	-----------

2 在住外国人との交流促進

(1) 国際交流活動の促進

市町村・団体等への支援（平成2年度開始）

市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う場合、その企画立案等の相談に応じるとともに、後援の形で必要な協力を行った。

年 度	共催件数	後援件数
平成17年度	3件	22件
18年度	3件	16件
19年度	0件	10件

(2) 「国際子供フェスティバル」事業の開催（平成15年度開始）

子供たちが積極的に参加できる体験型のプログラムを通して、世界の国々や異文化の存在を肌で感じ、国際交流・国際理解への第一歩となることを目的としたフェスティバルを実施した。

実施に当たっては、NGOとの連携及び在住外国人との共生の促進を図るため、NGOや県内在住外国人にブースの出店などの協力をもらい、県民との相互理解・交流を深めた。

開催期日	内 容	参加者	開催場所
平成19年 9月17日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の子供の写真展 ・民族衣装体験 ・ブラジル紹介、ぬりえ ・フェアトレードの紹介・販売 ・ヘナペイント ・世界の遊び、外国の歌・踊り ・紙トンボ・紙ごま作り ・ビーズで国旗作り、フェイスペイント ・民族楽器体験、民族楽器の演奏 ・はがき作り（環境を考える） ・アジアノットをつくろう ・クイズ大会 ・ブラジルの武術カポエイラ ・世界児童画展 ・親子茶道体験 ・日本のお茶を味わおう ・親子で韓国のおやつを作ろう ・カレーについてもっと知ろう ・ミャンマーの留学生とタピオカのおやつ作り ・みんなで大きな絵をかこう 	3,657 名	かごしま 県民交流 センター 各会場

3 国際交流組織の連携・支援の強化

(1) 民間団体の国際交流・協力活動への助成（平成2年度開始）

県内の民間団体が行う海外との文化・スポーツ・学術等の国際交流活動，県民の国際理解の推進を目的とする活動，地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し助成金を交付した。

団体名	活動目的・内容	助成額 (千円)	
DANKA DANKA	<p>(目的)</p> <p>1 中間評価調査 フェイズ1で行ったプロジェクト地における多様なインプットの有効性を調査し，ディンプ森林資源を地域住民が自立自発的に管理し普及させていくシステムを構築するためのより改善された手法を確立する。</p> <p>2 住民の自発的活動の支援と現地の活性化 活動の拠点 クルイサ村 ディンプ再生地域 シンチャンクンダーラ村</p> <p>(内容)</p> <p>1 中間評価調査 H19/10/12～11/25 現地調査：当団体のプロジェクトコーディネーターが現地入りし，ティエス市クルイサ村とコルダ州シンチャンクンダーラ村に於いて中間評価調査を行った。 評価方法：インデプス・インタビューと参与観察を用いた。 成果物：アフリカプロジェクト中間評価報告書</p> <p>2 住民の自発的活動の支援と現地の活性化</p>	428	
	H19/10/12～11/25		現地スタッフ育成 当団体のコーディネーターにより会計記帳指導と識字・インタビュー調査の指導が行われた。
	H19/12/1 ～H20/3/31		識字教育 現地スタッフ対象に週2回行われた。
	H19/11/15～11/19, H20/2/3～2/7		ディンプ再生地モニター調査・ディンプ再生プロジェクトタンバクンダ州とコルダ州において普及活動が行われた。
	H19/10/30 ～H20/3/31		マンゴー研修 マンゴー農園の準備とプート試験所から技術者が派遣され，定期的モニターと宿泊しながら挿し木の技術が教えられた。
	H19/10/28～11/24		縫製トレーナーズトレーニング 当団体のプロジェクトコーディネーターにより，型紙によるシャツ製作が導入された。 成果物：シャツ（10枚）と女性用上衣（3枚）
	H19/11/20～11/24, H20/12/1～3/31		染色訓練 講師へのトレーナーズトレーニングを行い，その後，ワークショップ型で自主グループへの課題作の染色訓練が行われた。 成果物：染色布
	H19/11/7～11/30		共同作業場ブロック塀 現地の要望・自主的判断を支援するために行われた。

フェアリス	<p>「世界フェアトレードデー」 身近な国際協力の一つであるフェアトレードを知ってもらい、自分には何ができるのか考え行動に移してもらおう。</p> <p>1 フェアトレードの説明（NHK週刊子どもニュース、テレビ朝日宇宙船地球号） 2 フェアトレード商品の生産者の写真展 3 フィリピンのゴミ山で生活する子供達の写真展 4 フェアトレード商品の販売、試飲、試食</p>	161
第17回稲尾杯日韓親善障害者ソフトボール大会 鹿児島大会主管連絡所鹿児島フレンズ	<p>「第17回稲尾杯日韓親善障害者ソフトボール大会」 日韓の障害者がソフトボール競技による交流を通じて相互理解と友情を深め、体力の鍛錬と協調の精神を養い、社会参加への意欲向上と一般社会の障害者理解の高揚を図ると共に、両国の障害者福祉の増進と親善交流を目的として開催する。</p> <p>平成19年11月10日 親睦のための交流懇親会 130名（ボランティア含む） 平成19年11月11日 日韓交流ソフトボール大会 200名（ボランティア含む）</p>	450
計3件	助成金交付額1,039千円	

(2) 市町国際交流協会及び国際交流団体とのネットワークの推進（平成11年度開始）

ア 共通の課題や問題を抱える市町国際交流協会や県内国際交流団体との意見交換会を開催し、問題解決のための方策の検討を行うとともに、ネットワークづくりを推進した。

年度	開催日	参加団体	備考
平成17年度	平成18年2月25日（土）	24団体	市町国際交流協会 県内国際交流団体等
18年度	平成18年12月24日（日）	25団体	市町国際交流協会 県内国際交流団体等
19年度	平成19年12月16日（日）	20団体	市町国際交流協会 県内国際交流団体等

イ 国際交流団体間の情報交換及び連携を図るため、「鹿児島県国際交流・協力団体メーリングリスト」を開設した。

(3) 全国組織等との連携

ア 全国組織等との連携

地域国際化協会連絡協議会をはじめ、財団法人自治体国際化協会など当協会と関係の深い全国組織等との連携を密にし、事務・事業の円滑な推進を図った。

年度	内容	開催日	開催場所
平成17年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成17年5月24日	東京都
18年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成18年5月30日	東京都
19年度	地域国際化協会連絡協議会総会	平成19年5月14日	東京都

イ 九州地区の協会間の連携

九州・沖縄地区の地域国際化協会組織する連絡協議会の総会及び実務者研究会に参加し、相互の情報交換や連携の強化を図った。

年 度	内 容	開 催 日	開催場所
平成17年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成17年7月14日～15日	佐賀県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成18年2月17日	福岡県
18年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成18年7月27日～28日	北九州市
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成19年2月 8日	大分県
19年度	九州地区地域国際化協会連絡協議会 総会	平成19年7月12日～13日	沖縄県
	九州地区地域国際化協会連絡協議会 実務者研究会	平成19年11月21日	鹿児島県

4 国際交流ボランティア制度の拡充

ボランティア活動の拡充・促進（平成2年度開始）

各種ボランティア登録者の拡大を図るとともに、登録者の充実した活動ができるよう支援した。

また、協会の各種事業において、ボランティアの活動の機会を提供するとともに、広報等に努めた。

(1) 登録者の状況（年度末現在）

年 度	ホストファミリー ボランティア	語学ボランティア
平成17年度	95家庭	65名
平成18年度	81家庭	73名
平成19年度	69家庭	65名

(2) 活動の状況

平成17年度	平成18年度	平成19年度
32件	19件	15件

(3) 活動実績（平成19年度）

ア ホストファミリーボランティア

名 称	期 日	家庭数
鹿児島県国際交流課 シンガポール日本語スピーチコンテスト ホームステイ受入	平成19年 9月22日 ～ 9月24日	1家庭
(個人) 日本生活体験のためのホームステイ受入	平成19年11月23日 ～11月25日	1家庭
鹿児島県青少年男女共同参画課 シンガポール青少年ホームステイ受入	平成19年11月 3日 ～11月 5日	2家庭
鹿児島県国際交流課 中国高校生訪日団のホームステイ受入	平成19年11月19日 ～11月20日	2家庭
財団法人鹿児島県青年会館艸舎 JICA青年研修事業 インドネシア青年ホームステイ受入	平成20年 2月 2日 ～ 2月 3日	9家庭

イ 語学ボランティア

名 称	期 日	活動人数	内 容
(個人) 中国語図書の翻訳	平成19年 4月 ～ 5月	2名	翻訳 (中国語)
(個人) 鹿児島市内の歴史・観光ガイド	平成19年 6月 5日	1名	観光案内通訳 (英語)
多国籍合宿実行委員会 分科会・総合討論における通訳	平成19年 6月16日 ～ 6月17日	3名	通訳 (英語)
(個人) 手紙の翻訳	平成19年 5月15日	1名	手紙の翻訳 (スペイン語)
株式会社指宿白水館 ホテル内の案内等	平成19年 7月 1日 ～ 7月 6日	6名	通訳 (英語)
鹿児島海外観光客受入協議会 観光客への案内	平成19年 7月 7日	1名	通訳 (中国語)
(個人) 鹿児島市内観光・通訳	平成19年 7月28日 ～ 7月30日	1名	通訳 (英語)
社会福祉法人慶生会 情報交換・交流のための通訳	平成19年 9月 5日 ～ 9月12日	1名	通訳 (韓国語)
鹿児島県港湾空港課 マリンポートかごしまオープニングイ ベントにおける通訳(補助)	平成19年 9月28日	2名	通訳 (英語)
鹿児島西南ロータリークラブ 鹿児島市内観光・通訳	平成19年11月 6日 ～11月 8日	3名	通訳 (英語)

第3 多文化共生の推進

1 在住外国人と日本人の相互理解の促進

(1) 多文化共生研究会の開催（平成19年度開始）

本県在住外国人が、地域住民として共に生きていくことができる住みやすい地域づくりを進めることを目的に、多文化共生研究会を開催し、多文化共生推進のための方策についての検討を行った。

クレアの助成事業として実施した。

開催期日	議 題	参加者数
平成19年 8月 7日（火）	多文化共生への取組の現状とあり方について（鹿児島での共生上の問題点とこれから取り組むべきことについて）	16名

(2) 在住外国人のための日本語・日本理解講座の開催（平成16年度開始）

県内に在住している外国人を対象に、日本語及び地域社会で生活する上で必要な生活情報等についての研修を行い、生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図った。

クレアの助成事業として実施した。

年 度	講座回数	受講者数	会 場
平成17年度	12回 （10月～ 3月 隔週土曜日）	17名	国際交流プラザ
18年度 初心者 初 級	30回 （ 5月～12月 毎週土曜日）	延べ106名	
	30回 （ 5月～12月 毎週火曜日）	延べ155名	
19年度 初 級 中 級	15回 （ 5月～ 9月 毎週水曜日）	10名	
	15回 （10月～ 1月 毎週水曜日）	17名	
	15回 （ 5月～ 9月 毎週木曜日）	18名	
	15回 （10月～ 1月 毎週木曜日）	22名	

(3) 多文化共生ボランティア育成講座の開催（平成19年度開始）

地域社会で生活する外国人のコミュニケーション面や生活面でサポートしうる人材の育成を目的に、多文化共生ボランティア育成講座を開催した。

クレアの助成事業として実施した。

年 度	開 催 期 日	内 容	受講者数
平成19年度	第1回	平成19年10月29日（月） 在住外国人サポートに関する基礎知識	26名
	第2回	平成19年11月10日（土） 在住外国人に関する生活上の課題	24名
	第3回	平成19年11月17日（土） 学校教育における支援課題	20名
	第4回	平成19年12月 1日（土） 医療における支援の課題	20名

第5回	平成19年12月15日（土）	保健・福祉における支援の課題	21名
第6回	平成20年 1月12日（土）	災害時の対応・支援のあり方	19名
第7回	平成20年 1月26日（土）	やさしい日本語表現	21名
第8回	平成20年 2月 9日（土）	外国籍住民を取り巻く状況とまとめ	19名

(4) 生活相談等

関係機関・団体等と連携しながら、各種の生活相談を行った。

【主な相談内容と件数】

ア 日本人相談内容

年 度	留学	外国情報	外国語	交流	生活	その他	合 計
平成17年度	64件	13件	13件	12件	7件	32件	141件
18年度	58件	10件	31件	15件	10件	86件	210件
19年度	15件	19件	30件	12件	5件	114件	195件

イ 外国人相談内容

年 度	就労	観光	ビザ	生活	医療	その他	合 計
平成17年度	8件			6件		7件	21件
18年度	9件	3件	2件	15件		25件	54件
19年度	14件	5件	14件	11件	3件	44件	88件

(5) 相談・支援体制の充実

交流推進員及び交流企画員を中心に、外国人等の生活相談、国際交流に係る相談に適切に応じられるよう、職員の専門知識の習得やカウンセリング技術の向上に努めた。

2 異文化交流の促進

(1) 外国人による日本語スピーチコンテストの開催（平成18年度開始）

各種国際交流団体と連携して県内在住外国人によるスピーチコンテストを開催し、国籍や文化の違いを越えた相互理解及び国際交流を深める機会とした。

年度	区分	開催期日	出場者	出場者出身国・地域
平成18年度	予選	平成19年 1月13日（土）	18名	中国、韓国、イギリス、インドネシア、ベトナム、パキスタン、 Bangladesh、ブラジル、台湾、インド
	本選	平成19年 1月20日（土）	10名	中国、韓国、インドネシア、ベトナム、パキスタン、インド
19年度	予選	平成20年 1月 6日（日）	29名	中国、韓国、台湾、インドネシア、ブラジル、ペルー、ドイツ、フィリピン、マレーシア、カナダ、タイ、アメリカ、タンザニア
	本選	平成20年 1月14日（月）	10名	中国、韓国、インドネシア、タイ、マレーシア、アメリカ

(2) 県国際交流員等による文化講座等の開催（再掲）

県国際交流員や在住外国人による外国の文化紹介や異文化体験等を通して、県民の国際理解を促進するとともに、多文化共生の地域づくりへの関心を高めた。

(3) 「国際体験in鹿児島」事業の実施（再掲）

小学生を対象に、外国人家族との交流の中で、その国の習慣や文化を学び、異文化の理解と国際交流への芽を育むため、県内在住外国人の家庭でのホームステイを実施した。クレアの助成事業として実施した。

(4) 国際交流プラザでの交流促進

来訪者同士の自由な交流（平成2年度開始）

国際交流プラザを訪れる外国人と県民とが気軽に談笑したり、情報や意見交換を行うなどの自由な交流を楽しむ場を提供した。

また、伝言板を設置して、イベント・不要品交換などの情報交換の場を提供した。

第4 国際協力の推進

1 留学生への支援

(1) 研究活動費の助成（平成3年度開始）

一定の条件を満たす留学生の学会等への出席などの研究活動を支援するため、旅費等の研究活動費の助成を行った。

年 度	対象者	助 成 金
平成17年度	8名	200千円
18年度	1名	30千円
19年度	8名	232千円

(2) 留学生の交流活動への支援（平成5年度開始）

東文子・外国人留生活動等支援事業会計を活用し、留学生会等が主催する国際交流・理解事業等に要する経費の助成を行うなど、留学生の交流活動等への支援を行い、国際交流・理解をさらに促進した。

ア 外国人留生活動等支援事業助成金

年 度	件 数	金 額
平成17年度	6件	206千円
18年度	1件	100千円
19年度	1件	100千円

イ 留学生会等への支援

年 度	件 数	金 額
平成17年度	10件	293千円
18年度	9件	59千円
19年度	2件	8千円

ウ 東文子・外国人留生活動等支援事業

年 度	件 数	金 額
平成18年度	4件	975千円
19年度	2件	324千円

(3) 留学生支援資金貸付制度の運営（平成10年度開始）

留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費等で一時的・臨時的に多額の出費を必要とする場合に、無利息で資金の貸付を行った。

年 度	貸付件数	貸付額
平成17年度	4件	400千円
18年度	4件	400千円
19年度	7件	700千円

(4) 留学生住宅確保支援事業（平成13年度開始）

留学生が住居を賃借する際に、当協会が賃貸契約の連帯保証人として機関保証することにより、留

学生の円滑な住宅確保を図った。

年 度	件 数
平成17年度	23件
18年度	14件
19年度	13件

(5) 各大学等留学生担当者意見交換会の開催（平成18年度開始）

留学生に関する情報交換や支援のあり方等について、各大学等留学生担当者との意見交換会を実施し、連携を深めた。

開 催 日	参加者	開催場所
平成18年 4月28日（金）	14名	かごしま県民交流センター
平成19年 4月25日（水）	17名	

(6) 留学生のための生活ガイドブックの発行

日本語や日本の生活習慣等に不慣れな新入学の留学生が、戸惑うことなく安心して鹿児島での生活を送ることができるよう、「留学生のための生活ガイドブック」を発行した。

平成18年度	平成19年度
600部	150部

2 国際協力に対する理解の促進

(1) 青少年国際協力体験事業の実施（再掲）

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会及び青年海外協力隊鹿児島県OB会と連携し、県内の中・高校生等にアジアにおける国際協力の現場を体験させる事業を、市町村や企業・団体の協力を得ながら実施した。

クレアの助成事業として実施した。

3 国際協力機関等との連携

(1) 独立行政法人国際協力機構（JICA）

国際協力推進員の配置（平成8年度から）

独立行政法人国際協力機構との連携により、協会内に国際協力推進員を配置し、国際協力等に関する情報提供や相談等に応じた。

【国際協力に関する情報提供、相談】

年 度	開発教育	NGO	その他の国際協力	合 計
平成17年度	79件	8件	157件	244件
18年度	76件	18件	247件	341件
19年度	77件	12件	235件	324件

(2) 財団法人国際協力推進協会（APIC）

「国際協力プラザコーナー」の設置（平成10年度開始）

APICから提供される国際協力に関する情報提供を行った。（パンフレット、書籍、ビデオ等）

(3) 財団法人日本ユニセフ協会

子供向け、学校向けのユニセフ視聴覚教材を揃え、貸出を行った。

ユニセフビデオの貸し出し（平成6年度開始）

平成17年度	平成18年度	平成19年度
19件	23件	21件

(4) 在外県人会の育成

ア 活動の支援（昭和62年度開始）

在外県人会が行う移住者の援護指導，消息不明者の調査，移住者の実態調査，県人子弟の育成・指導，母県との交流などの活動を支援するため，これらの業務を県人会に委託した。

委託先：ブラジル，アルゼンチン，ペルー，パラグアイ鹿児島県人会

イ 郷土情報の提供（昭和62年度開始）

在外県人会並びに県出身者に対して，グラフかごしま，県政かわら版，かごしまNOW等を定期的に送付し，郷土情報の提供を行った。

第5 協会体制の確立

1 管理運営の充実

(1) 国際交流プラザの運営（平成2年度開始）

「国際交流プラザ」の運営について、県の委託を受けて、県民や在住外国人等をはじめ関係団体等に幅広く利用されるよう各種のサービスの提供に努めた。

ア 国際交流プラザ入館者数・会議室利用件数

年 度	入 館 者 数	会 議 室 利 用 件 数
平成17年度	40,788名	184件
18年度	42,415名	230件
19年度	40,135名	258件

イ 国際交流プラザの施設

設置年月：平成2年7月（平成15年4月移転）

施設総面積：433.46㎡（移転前193.08㎡）

施設の内容：交流サロン、情報資料コーナー（図書、ビデオ）、研修施設（会議）、メッセージボード

(2) 旅券業務の遂行（昭和62年度開始）

県の委託を受けて、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行った。

年 度	旅券交付件数	取 扱 事 務 所
平成17年度	28,357件	かごしま県民交流センター内パスポート窓口、 地域振興局（南薩、北薩、姶良・伊佐、大隅）、 支庁（熊毛・大島）、 事務所（屋久島・瀬戸内・喜界・徳之島、沖永良部）
18年度	32,945件	
19年度	29,753件	

2 組織機構の拡充強化

新しい時代感覚と複雑多様化する国際交流・協力事業を円滑適切に遂行していくため、各種の研修等による職員の資質の向上に努めた。

研 修	実施期間	実施場所
旅券事務担当者実務研修	平成19年 5月25日	鹿児島市
地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成19年 7月 5日～ 6日	東京都
多文化共生社会対応コース研修	平成19年 8月27日～ 31日	滋賀県
地域国際化協会職員国内研修会（管理担当者向け）	平成19年 8月30日～ 31日	東京都
災害対策事例説明会	平成19年 9月 7日	大分県
地域国際化協会職員国内研修会（事業担当者向け）	平成19年12月13日～14日	東京都

3 財源基盤の確立

(1) 基本財産の適切な運用と事業推進に必要な財源確保に努めた。

(2) 地域国際化協会等先導的施策支援事業の実施（平成9年度開始）

財団法人自治体国際化協会の助成を受け、先導的施策支援事業を実施した。

年 度	事 業 名	助成金の額
平成17年度	インターナショナルキャンプ	500千円
18年度	国際子供フェスティバル	1,510千円
19年度	国際理解プログラム事業	700千円

(3) 自治体国際協力促進事業（モデル事業）の実施（平成19年度開始）

財団法人自治体国際化協会の助成を受け、自治体国際協力促進事業を実施した。

年 度	事 業 名	助成金の額
平成19年度	鹿児島県青少年国際協力体験事業	758千円

(4) 地域国際化施策支援特別対策事業の実施（平成19年度開始）

財団法人自治体国際化協会の助成を受け、地域国際化施策支援特別対策事業を実施した。

年 度	事 業 名	助成金の額
平成19年度	在住外国人と日本人のための異文化理解講座	900千円